

地域密着型サービス評価の自己評価票

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) | |
|--------------------|---|---|----------------------------------|---|
| I. 理念に基づく運営 | | | | |
| 1. 理念と共有 | | | | |
| 1 | ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている | その方らしく地域の中で生活を継続して頂く様、センター方式によるアセスメントの情報収集に留意し「最後までその方らしく」を理念としてスタッフ一同取り組んでいる。 | ○ | 地域密着型サービスとして、地域の方々とのつながりやご家族とのつながりを大切に今後も「最後までその方らしく」の理念を持って取り組んでいきたい。 |
| 2 | ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる | 常に「最後までその方らしく」を念頭に置き、利用者様が過ごしていただけるように部会等で話を行うとともにマンツーマンで会話する事に留意し、その方の思いなどを速やかに把握し理念を実践できる様取り組んでいる | ○ | 部会においてその方らしく生活するにはどうすればよいか検討を行っている。今後も「最後までその方らしく」の理念を実践していけるよう取り組んでいきたい。 |
| 3 | ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる | 御家族や地域ボランティアがみえた際は、御利用者様の生活をアピールし地域で生き生きと生活されている事を理解して頂いている | ○ | 今後も、御利用者様の生活ぶりや日々の出来事などをウェルカムボードを通してアピールしたりと努力していきたい |
| 2. 地域との支えあい | | | | |
| 4 | ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている | 敬老祝い会などでは同地区の民生委員様や婦人会の方々に参加していただき、グループホームがどのような施設であるかを知っていただくことで気軽に立ち寄っていただけるように努めています。また、ご利用者様と散歩に出かけ近隣の方と挨拶を交わしています。 | ○ | 今後も「開かれた施設」を目指して行事や日常的な挨拶等によりグループホームを知っていただくことで気軽に立ち寄っていただけるよう取り組んでいきたいと思ひます。 |
| 5 | ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている | 民生委員様を通して地域行事へ参加を行ったり、ご利用者様と一緒にゴミ袋を持って散歩をしながら地域の環境美化へ取り組んでいます。 | ○ | 今後も継続していきたい |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|---|------|---|
| 6 | ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる | 行事開催時に近隣のおひとり暮らしの方などお迎えして職員やご利用者様と交流を持っていただくことで、気軽に訪問していただけるよう取り組んでいる。 | ○ | 今後も民生委員様にもご協力していただき、機会があれば交流を持ち気軽に立ち寄って頂けるようにしていきたいと思います。 |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 | | | | |
| 7 | ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる | 自己評価を行うことで自分たちの業務を見直す機会とし、また評価にいただいたアドバイスを生かし、運営会議を通して地域との関わりを多く持てるよう努力している。 | ○ | 御家族にお答えいただいているアンケートを通し、より良い個別ケアに取り組んでいきたい |
| 8 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回会議を開催し、行事やご利用者様の状況を会議で詳細に報告し、ご家族や民生委員、地域包括からの意見や質問、提案などをサービスに活かせるように努めています。会議の結果は議事録として玄関に掲示している。 | ○ | 地域密着型サービスの施設として、今後も民生委員様の意見など業務に反映していきたい |
| 9 | ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる | 市町村とは地域包括支援センター職員の方に運営推進会議に参加して頂いているが、それ以外の行き来はない。 | ○ | 施設だけではなく行政も協力して頂き、認知症の理解をもっと広い範囲で持ってもらえる機会があればと思います |
| 10 | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している | 成年後見人制度に関する施設での勉強会には参加しているが、ご利用者の中に現在該当される方はおられない。 | ○ | 時代の流れと共に、今後ケースが増えてくると思われるので知識としてしっかり持っておきたい |
| 11 | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 「身体拘束・リスクマネジメント」の園内研修に参加するなど虐待や身体拘束について学ぶ機会をできるだけ持つようになっています。入浴の際など、御利用者様の全身状態を観察し確認を行っています。 | ○ | 職員による虐待なども一般では問題視されている為、今後も全身の観察など留意していきたい |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------|--|--|---|
| 4. 理念を実践するための体制 | | | |
| 12 | ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 契約時には利用契約書・重要事項・内規など十分に説明を行い、退居時についても話し合いの場を設け、ご理解、ご納得をいただけるよう対応しています。 | ○ 今後も利用者様・ご家族様に十分にご理解・ご納得をいただけるよう対応していきたい。 |
| 13 | ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 日々の生活の中での会話にてご利用者の意見や要望などを聞き取り改善に取り組んでいる。また、ご利用者からご家族に伝わった意見が反映されるように無記名でのアンケートを年2回実施している。 | ○ 認知症という事から、ご利用者様の満足度をはっきりと確認する事は難しいが、常に表情などを観察し喜んで頂いているか否か確認していきたいと思う |
| 14 | ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている | 定期的な報告は行っていないが、面会時には状態をお伝えしている。また身体の変化(病気等)については速やかに電話などで説明し指示をいただいている。金銭管理についても、明細書と領収書を添付しきちんとご理解頂いている。 | ○ 金銭の扱いに関しては、御家族との信頼関係に大きく関係する為今後もきちんと行なっていきたい |
| 15 | ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 年2回無記名でのアンケートを実施し意見や不満、苦情等を表せる機会を持っています。また、オンブズマン委員会や公的機関の苦情窓口を記載し外部へも表せるようにしている。いただいた意見や提案は部会等にて話し合い改善に向け取り組んでいる。 「みなさまの声」(苦情箱)を玄関に設置している。 | ○ 「みんなの声箱」に特に意見はみられないが、御家族やご利用者様の訴えは謙虚に受け止めていきたい |
| 16 | ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 常にスタッフの意見を取り入れるように配慮し、日常業務の中や部会などでも相談しやすい環境作りに努めている | ○ 月に1度の部会では必ず業務の見直しを行ない、新しく入ったスタッフに、新鮮な眼で見て何か不都合はないか尋ねていきたい |
| 17 | ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている | 通常の勤務については勤務表を基に行っているが、ご利用者様の心身の状況を踏まえながら、スタッフに相談を行い勤務調整を行っている。 | ○ 今後もご利用者様の状況に合わせて柔軟な対応が行えるようにスタッフ間で協力し対応していきたい。 |
| 18 | ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | 人事異動に関しては十分に検討し馴染みの関係を築いた職員の異動をできるだけ最小限にとどめる様に配慮している。代わる場合においても、経験のある職員を配置するように心掛けている | ○ 今後も職員の異動に際しては十分に配慮を行ってきたい。 |

| 項目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|---|------|--|
| 5. 人材の育成と支援 | | | |
| 19 | ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | ○ | 講習会の案内などスタッフ全員に周知してもらい出席を促がしていきたい。また参加した職員より参加できなかった職員へ報告することで情報の共有を図っていきたい。 |
| 20 | ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | ○ | 研修会等を通して、できるだけ他施設職員との情報交換を行い業務に活かしていきたい。 |
| 21 | ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる | ○ | 常に明るい雰囲気、チームワークを大事にする様に心掛けている。部会の際も意見が活発にでているのでこのまま継続していきたい |
| 22 | ○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている | ○ | 職員各自が向上心を持って業務が行えるように今後も評価内容等検討を行ってきたい。 |
| II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 | | | |
| 23 | ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | ○ | ご本人様の言葉に耳を傾け、ゆっくと相談していただけるように努力している。 |
| 24 | ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている | ○ | 電話での御相談を受ける事も多いが、随時丁寧に説明するよう心掛けている |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|--|------|---|
| 25 | ○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人及び御家族の「その時」のニーズを話し合い等にて速やかに察知し対応に努めている。 | ○ | その方のアセスメントの見直しを行ない嗜好的な面からも考慮している |
| 26 | ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 利用前には施設を見学していただくようにしている。また他利用者、職員との交流の場をセッティングし、会話をさせていただくことで自然な流れで施設及びご利用者様に慣れて頂く様心掛けている | ○ | 入居に際してはきちんとご本人様にご家族よりご説明していただきご納得いただいた上でご利用していただけるように働きかけるとともに、職員より積極的にご本人様との係りの時間を持っていきたい。 |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 | | | | |
| 27 | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている | 本人様のアセスメントを元に、残存機能を十分活用して頂ける様スタッフは脇役に回り、側で支える様にしている。又、日常の会話の中から生活の知恵や漬物のつけ方など教えていただき、施設の食卓にも反映してる。 | ○ | これからもご利用者様に「学ばせていただいている」という謙虚な気持ちを持ち続け業務に就くよう心掛けていきたい |
| 28 | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている | ご利用者様に異変があった際には、速やかに御家族に状況報告をし施設での様子を把握して頂いている。また行事へ参加していただくことで職員との交流も深めていただき、御家族と一緒に御本人を支えいけるよう努めている。 | ○ | 今後も相互の信頼関係を良好に保てるように努力していきたい。 |
| 29 | ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している | 入所されても、あくまでもご本人は御家族である意識を常に持っていただけるようにはできるだけ参加していただき豊かな家族関係は維持して頂くよう心がけている。 | ○ | 年に1度の健康診断、衣類の衣替えの際など御家族にお願いしご利用者様も御家族の独りである事を感じて頂く機会を持って頂いている |
| 30 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 御本人の思いを大切にし、お友達からお電話などあった際は共に喜ぶようにしている。またドライブの際など、昔住んでらした地域を通るなど、懐かしんで頂いている。 | ○ | 今後も関係が途切れないように、ご本人様の思いを大切に支援していきたい。 |
| 31 | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている | ご利用者様がお互い、和気藹々と毎日過ごして頂くようにスタッフと共に明るい雰囲気作りにも努めている | ○ | 午前、午後のお茶の時間は運動も含めて皆様が気分転換できる様問いかけなどにも留意しており続けていきたい |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|---|---|------|--|
| 32 | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている | 医療的処置の部分が多くなった為、退所された方にも電話などで御家族に連絡させていただきその後の経過を伺っている | ○ | ターミナルを迎えられた方に、退所後しばらくはグリーンケアとしてイベントの参加の御案内も行っていった。今後も続けていきたい |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | |
| 1. 一人ひとりの把握 | | | | |
| 33 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 常にどんな風に余生を過ごしたいかなど会話の中から引き出し、ご本人様の意図を確認するようにしている。また、常に利用者様が主体であることを意識して取り組んでいる。 | ○ | 今後もご利用者様の言葉に耳を傾け、ご利用者様主体のケアに取り組んでいきたい。 |
| 34 | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | センター方式を用いて、ご利用者様の個別ケアを充実できる様工夫している | ○ | 普段の会話などからも、その方の生活歴が伺える。部会の時に情報の共有化としてスタッフに話すようにしている。 |
| 35 | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている | ご利用者様の現在の心身状況等を十分に把握できるように、職員間の連絡を密に行うとともに、部会等にて話し合いを行っている。 | ○ | 今後も随時状況の把握に努めていきたい。 |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | | | | |
| 36 | ○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している | 御家族が面会に見えた際など積極的にコミュニケーションをとり、御本人だけではなく御家族の御意見も取り入れるようにしている | ○ | 年々進行しつつある認知症の症状を御家族に報告し、どの様にケアして欲しいか希望を伺いプランに反映している |
| 37 | ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している | 本人様の変化に合わせてプランの見直しをする為その都度カンファレンスを開き本人様に適したサービスを展開できる様心掛けている | ○ | 今後も状況の変化に応じて対応が行えるように努めていきます。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|------------------------------------|--|---|------|--|
| 38 | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 毎日のケース記録に、ご本人様の様子を詳細に記載し出勤した際よく目を通し情報の共有化を心掛けている。又、毎月1月分のケース記録をまとめ計画の見直しの参考としている | ○ | 1月のケース記録を担当スタッフでまとめる事により、個別支援ケアのプラン作成に反映できていると思われる為今後も継続していきたい |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援 | | | | |
| 39 | ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている | 本人様の日々の様子に留意し、柔軟な態度でその時の御本人様に適したサービスを提供している。運動会を開催したり、踊りの会を催したりとご利用者様の残存機能を刺激する機会を作っている | ○ | 今後も臨機応変にご利用者様・ご家族様の状況に応じて、対応できる事柄については行っていきたい。 |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 | | | | |
| 40 | ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している | 消防避難訓練は消防署立会いで実施し、次回訓練では地域の協力ボランティアの方にも参加していただく予定となっています。ボランティアの訪問もあり地域の方々の協力をいただいています。 | ○ | 火災の際、地域でお手伝いして下さる方も伺っており次回の消防訓練には一緒に参加して頂く予定 |
| 41 | ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている | 他ケアマネとの関係はありませんが、ターミナルの際は、訪問看護や医師などと話し合いを行い、他のサービス利用の橋渡しをしている | | |
| 42 | ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している | 地域包括支援センターとは2ヶ月に1回の運営推進会議にて意見をいただきよりよいケアに努めています。 | ○ | 必要な場合には協働で行っていけるよう関係を持っていきたいと思っています。 |
| 43 | ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 適宜、御家族にお願いして主治医に受診して頂き、疾病の早期発見、早期予防につながっている | ○ | |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----|---|--|------|---|
| 44 | ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している | 認知症による症状など専門医に相談する事によって適した内服やケアにつながっていると思われる。 | ○ | 特に夜間の眠剤の調整など専門医のアドバイスを受けながら調整する事ができる。 |
| 45 | ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている | 看護師が常勤1名おり、24時間携帯電話などで連絡が取れる様になっている為緊急時は速やかに対応できている | ○ | 今後も看護師と相談しながらご利用様の健康管理を行い、早期対応が行えるように努めていく。 |
| 46 | ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している | ご利用様が入院された際などは、支障のない範囲でお見舞いに伺い病院での様子など医療関係者から情報を得ている。その情報が退院後の施設での生活の留意点にもつながっている | ○ | 退院時のサマリーも必ず作成して頂き家族に持参して頂いている。その為入院中の様子や食事形態など必要な情報を確実に把握で帰園後のケアに役に立っている。 |
| 47 | ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 本人様の変化に合わせてカンファレンスを開き、御家族と本人様の望まれる最後を迎えて頂くようスタッフ一丸となって取り組んでいる | ○ | ターミナルは2年前に経験させていただいており、本当にご本人様、ご家族様が望まれる最期を送っていただけるように今後も取り組んでいきたい。 |
| 48 | ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている | かかりつけに医にこまめに状況報告を行い、指示を仰いでいる。又、御家族への状態説明もその都度行なって頂き、本人様の変化に備えて御家族と共に力を合わせてケアしていく姿勢で臨んでいる | ○ | 御家族と一緒に終末期介護を行う事は本人様にとっても何より嬉しいことだと思われる。ご希望があれば是非とも行ないたい |
| 49 | ○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている | 他施設に転居される予定の方には、当園での生活やADLをアセスメントとしてまとめ、転居予定の施設に持って行って頂いている。その事により違った環境においても安心して同じケアを受ける事ができていると思われる | ○ | 今後も十分な話し合いや情報提供を行い、ご本人様が安心して過ごしていただけるように支援を行っていきます。 |

| 項 目 | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|----------------------------------|--|---|---|
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | |
| 1. その人らしい暮らしの支援 | | | |
| (1)一人ひとりの尊重 | | | |
| 50 | ○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない | 個人情報の取扱については、「基本方針」を基に対応し施設内での利用については同意書をいただいております。また常に個人情報の守秘義務を意識しており、スタッフにも施設の外に出たらご利用者様の事は口外しない様に常日頃話している | ○ 常に個人の尊厳を重視した対応を行って行きたいと思えます。 |
| 51 | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている | 各ご利用者様のペースに合わせ、訴えを傾聴しその結果ケアにつなげるようにしている。時には、本人の残存機能を重視して少し無理して頂くこともあるが「自立支援」という事には沿っていると思う | ○ ご利用者のご希望や残存機能を活かしていけるように支援を行っていきたい。 |
| 52 | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 御家族からお聞きしたアセスメントを元に、その方が1日気持ちよく過ごしていただけるようご本人様の状態に合わせて無理強いをしないように支援している。 | ○ お天気のいい日はなるべくドライブや散歩にでかけているが、拒否される方はその気持ちを受け止め残った職員で対応している |
| (2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 | | | |
| 53 | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている | 外出の際は化粧を施したり、入浴後は基礎化粧をしたりとその方がお元気だった頃なさった様な生活習慣を送るよう努めている | ○ 今後も継続していきたい。 |
| 54 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている | 食事の準備に入る前に「今日は何を食べたい気分ですか？」と皆様に伺うようにしている。昨日と同じものを言われた際は他の方の意見を優先したりと臨機応変にしている。 | ○ 毎食後の残食量を計り、ご利用者様の満足度を測る目安としている。又、残食量に対するコメントを記入し反省材料とする |
| 55 | ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している | 本人様の生活習慣に合わせて、喫煙、飲酒もして頂いている。自宅にいた頃と代わらない様な生活を送っていただけるようにしている。 | ○ 時折、他の方と晩酌が始まる事もあり。楽しい時間を過される事が多い為今後も続けていきたい |

| 項目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-------------------------------------|--|---|------|---|
| 56 | ○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している | 残存機能を生かし、できるだけ普通の下着をつけて頂き尿パッドやはくパンツなどは最低限に使う様にしている | ○ | トイレまで歩くこともリハビリであり、トイレで排泄するという「気持ちよさ」をご利用様に感じて頂きたいので継続していく |
| 57 | ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している | 現在、16:00頃～皆様に入浴して頂いている。1日9名は困難である為半分に分けて1日おきに入浴して頂いている状態。できれば個人の希望に応じて入浴時間も変則的にしたいのだが見守りや介助を重視すると、現状となってしまう | ○ | 通常「夜間入浴」が普通ではあるが、個別にゆっくりと入浴して頂く事を大事にしたいと思っている。今後も入浴時間については検討していきたい。 |
| 58 | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している | 就寝時間は特に決めず。眠くなってきたら居室にご案内する様にしている | | |
| (3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 | | | | |
| 59 | ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 昔やっていた趣味などを伺い、御家族にも協力していただき道具をお持ちしていただくように働きかけている。 | ○ | もっと作業療法などを取り入れ、新しい趣味を作り出す事も考慮する |
| 60 | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 買い物の際、御自分で支払いの出来る方はご自分で行ってもらえるように言葉掛けを行ないながら支援している。 | ○ | 買い物を自分で支払いする事は一種の社会参加である為。認知症の進行を防ぐ為にも継続していきたい。 |
| 61 | ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している | お天気の具合などにより、ドライブや買い物にでかけて気分転換を図っている。時には草むしりも一緒に行なっている。 | ○ | 今後もご利用者の状況を見ながら気分転換をかねて戸外への外出をおこなっていく。 |
| 62 | ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している | お誕生日の月など、担当職員が本人の趣味に合わせて映画に行ったり、美術館にでかけたりしている | ○ | 外出し、大勢の人ごみの中に入ると適度に緊張される方が多くいい刺激となっている為できるだけ、外出の機会は多く持っていきたい |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------|---|--|------|---|
| 63 | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 御希望があればその都度、電話で話す介助を行なっている | | |
| 64 | ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している | 面会にみえたら、笑顔で大きな声で挨拶するようにしている。すぐにお茶などお出しし、自宅の様にくつろいで話していたける様に配慮している | ○ | 園での様子などさりげなくお話しして、来園者に安心して頂く様心掛けている |
| (4)安心と安全を支える支援 | | | | |
| 65 | ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 拘束は行なわないようにスタッフに指導し、拘束のないケアを行なっている。身体拘束についての勉強会など随時参加している | ○ | 今後も何が身体拘束に当たるのかを研修などを通して勉強をし拘束のないケアを行っていきます。 |
| 66 | ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる | 鍵は夜間のみ安全管理を目的として玄関等はかけている。自室への施錠は行っていない。 | ○ | 今後も鍵をかけないケアを継続していきます。 |
| 67 | ○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している | 常にご利用様が今、どこにいらっしゃるか職員間での連携を持ちながら確認を行っている。また、夜間は定期的に巡回を行い安否の確認を行っている。 | ○ | 調理に夢中になったりスタッフ間同士での声掛けが不十分で離脱されそうになった事がある為今後も留意していきたい |
| 68 | ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている | 個人の能力に応じて、スタッフサイドで見守りをしながら扱って頂いている | ○ | 野菜の皮剥き、キュウリの千切りなどできる事はスタッフが側で見守りながら行なって頂いており継続していきたい |
| 69 | ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる | 誤嚥、窒息など起こりうる事故を想定して、随時勉強会を行っています。またヒヤリハット報告書や事故報告書等と基に発生防止に努めている。 | ○ | 研修に参加した際、その資料を基に施設にてスタッフ間に情報を広めていきたいと思う |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|--|---|------|--|
| 70 | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている | 救急蘇生法など、起こりうる事故を想定し随時勉強会や研修に参加している | ○ | 今後も講習会等に参加し、緊急時の対応が行えるように勉強を行っていきます。 |
| 71 | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている | 火災報知器・消火器を設置。消防計画に沿って年2回訓練を実施している。7月に夜間想定にて消防訓練を施行。避難経路や避難方法などを消防署の方のアドバイスをいただいた。また、地域の協力も得られるようにしている。 | ○ | 今後も消防計画に沿って訓練を行い災害に対する意識を高めるとともに地域の方との連携を強めていきたいと思えます。 |
| 72 | ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている | ケアプランの中に、個別に起こり得る事故を想定しそのケア内容を記入し説明している | ○ | リスクについてはご利用者様の状態によって変化するため、その都度ご家族にも説明を行い検討を行っていききたいと思えます。 |
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 | | | | |
| 73 | ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている | 午前午後のバイタルチェックを初め、入浴の際も全身状態を観察し常にご利用者様の全体に留意している。又、異変があれば、その都度スタッフ間で申し継ぎを行い留意している | ○ | 業務チェック表を用いて夜勤者にも情報が共有できる様にしている為夜間も継続してご利用者様に一環したケアと観察ができています |
| 74 | ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | ご利用者様の病歴や生活歴をまとめたファイルを常にカウンターに置き、随時確認する様にしている。 | ○ | センター方式を利用し、各担当でもっと詳細なアセスメントを取っていきケアに反映させたい |
| 75 | ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる | 排泄チェック表を確認し、便秘が長期にならに様内服薬などで調整している。水分は午前午後、摂取して頂く時間があり、皆様に水分補給をして頂くよう心がけている。又、発熱など個別に必要な場合はその都度多めに水分を摂って頂いている | ○ | 夜勤者にも、チェック表を通して、便秘や発熱の事は申し継ぎをし継続したケアと観察を行っている。 |
| 76 | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている | 毎食後、口腔ケアの誘導、および介助を行ない週に1度は義歯の方はポリドントなどで消毒している | ○ | 誤嚥性肺炎を予防する為にも、就寝前の口腔ケアは徹底する様にしている。 |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|---|------|---|
| 77 | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事摂取量や水分摂取状況を確認しながら、適宜支援している | ○ | 個人の1日の消費カロリーなどを勘案しながら、主食の量の調整など行なっている。 |
| 78 | ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等) | マニュアルを参考にしながら、手指消毒や環境整備に留意している | ○ | ご利用様が感染症に罹患された場合は速やかに対応策を連絡し、他者への感染を予防している |
| 79 | ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている | 天気のいい日は日光消毒を行い、食器は乾燥機にて高熱処理をしている。又、食材の賞味期限には留意し、スタッフ間で早めに使う様申し継ぎをしている | ○ | ご利用様に食器拭きをして頂いているが、拭く前に必ず手指消毒をして頂いている。 |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり | | | | |
| (1)居心地のよい環境づくり | | | | |
| 80 | ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている | 玄関入り口には緑を置いたり、玄関にはウェルカムボードを置いてご利用者様の日頃の生活などを見ていただいている。 | ○ | ご利用者様の中に土いじりの好きな方がいらっしゃるのので、一緒に草むしりをしたりと環境整備をしている。 |
| 81 | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 衛生面に留意し、掃除の確認表などを用いながら確実に清掃を行なっている。又、朝は窓を開放し、換気などにも注意している。季節に応じた生花を飾ったり、雰囲気に合わせて音楽を流すなどリラックスしていただけるように配慮している。 | ○ | トイレの中にもグリーンを置くなど明るい雰囲気作りを行っている。 |
| 82 | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 独りで過ごせる空間が、構造上でできていないが、必要時は仕切りを利用したりしてプライバシー保護の工夫をしている。 | ○ | お独りになりたい様子の際は、居室にて過していただいている。その際、居室に入る時は必ずノックしプライバシーへの配慮を行なっている |

| 項 目 | | 取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容) | (○印) | 取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む) |
|--------------------------------|---|--|------|---|
| 83 | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居の際に「本人様の使い慣れた物を」と説明しているが、居室の広さに合わせたサイズの物を購入して準備されたりと色々である。小さな小物は、使い慣れた物を持参されている。 | ○ | 今後もご家族への働きかけを行っていきたいと思います。 |
| 84 | ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている | 室温、湿度は1日3回決まった時間に確認し、適温で過ごして頂くよう配慮している。又、排泄臭など速やかに無くなる様換気は常に行なっている | ○ | 温度計、湿度計の結果によっては洗濯物を室内に干したり除湿したりと配慮している。 |
| (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり | | | | |
| 85 | ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 適所に手すりが設置してあり、それを用いてリハビリなどを施行している。浴室やトイレにも設置してあり、残存機能を生かせる様になっている | | |
| 86 | ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している | アセスメントを元に、個人の能力を把握し楽しい時間を過ごして頂くよう支援している | ○ | 今後もご利用者様の力を活かしていただける取り組んでいきたい。 |
| 87 | ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている | 裏庭に畑を作り、ご利用者様と一緒に草むしりをしたり気候に応じてウッドデッキでティータイムをしている | ○ | 庭になっている柿を取りに行ったり、落ちた草を掃き掃除したりと自然を生かした活動が出来ている |

| V. サービスの成果に関する項目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|------------------|--|-----------------------|--------------|
| 項 目 | | | |
| 88 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる | ○ | ①ほぼ全ての利用者の |
| | | | ②利用者の2/3くらいの |
| | | | ③利用者の1/3くらいの |
| | | | ④ほとんど掴んでいない |
| 89 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある | ○ | ①毎日ある |
| | | | ②数日に1回程度ある |
| | | | ③たまにある |
| | | | ④ほとんどない |
| 90 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 91 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 92 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 93 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 94 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 95 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています | ○ | ①ほぼ全ての家族と |
| | | | ②家族の2/3くらいと |
| | | | ③家族の1/3くらいと |
| | | | ④ほとんどできていない |

| 項 目 | | 最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。 | |
|-----|---|-----------------------|--------------|
| 96 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている | | ①ほぼ毎日のように |
| | | | ②数日に1回程度 |
| | | ○ | ③たまに |
| | | | ④ほとんどない |
| 97 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている | | ①大いに増えている |
| | | ○ | ②少しずつ増えている |
| | | | ③あまり増えていない |
| | | | ④全くいない |
| 98 | 職員は、生き活きと働いている | ○ | ①ほぼ全ての職員が |
| | | | ②職員の2/3くらいが |
| | | | ③職員の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 99 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての利用者が |
| | | | ②利用者の2/3くらいが |
| | | | ③利用者の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどいない |
| 100 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ | ①ほぼ全ての家族等が |
| | | | ②家族等の2/3くらいが |
| | | | ③家族等の1/3くらいが |
| | | | ④ほとんどできていない |

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

日頃の生活の中ではなかなか見出し難い残存機能を、運動会などオリジナリティーのあるイベントで掘出す事ができている明るい施設です。パン食い競争などではアンパンめがけて普段は歩くのも困難なのに早足になったりする方もいらっしゃいます。御自分も含め、スタッフとしても新しい発見ができ、アセスメントの中に取り込み月に1回の部会の中ではケアの方向を見直すきっかけにもなります。広い敷地と自然に満ち溢れた環境で、畑作業が好きな方はそれに没頭され、腰痛の具合に応じて草むしりをする方もいらして・・・と個人個人がマイペースで毎日を穏やかに過ごして頂いています。